

地域と学校を繋ぐ学校運営協議会立ち上げに向けて ～ふるさと白川郷に夢と誇りをもった白川っ子を育む～



岐阜県大野郡白川村教育委員会

教育委員会 社会教育主事 新谷さゆり
白川郷学園白川中学校 教頭 進藤 千里

白川郷学園 白川村について

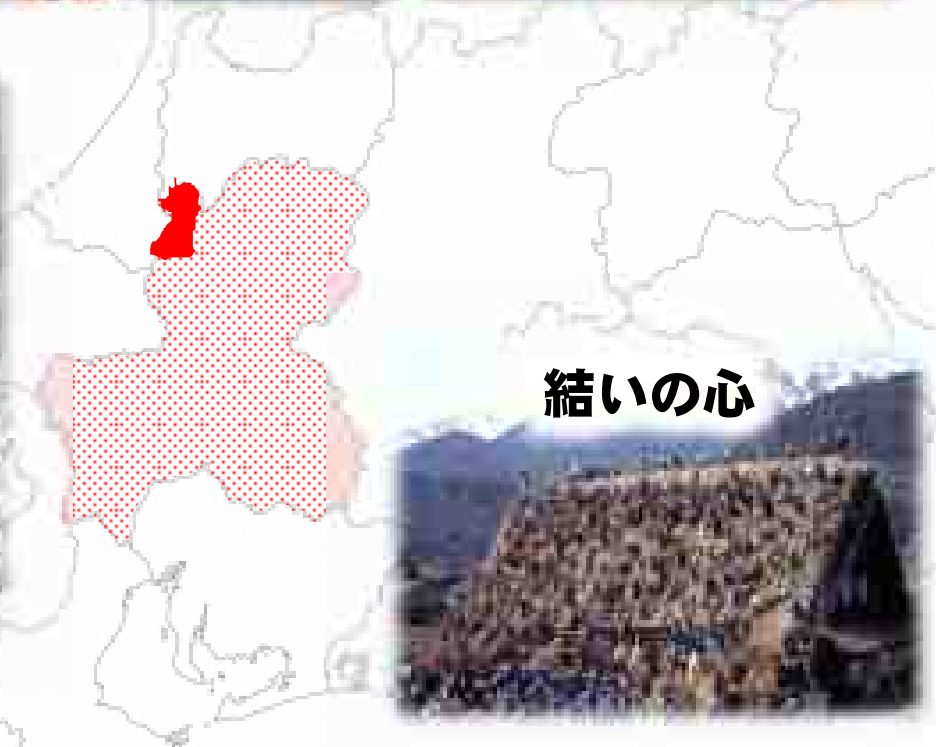
人口 1,724 名
世帯数 565 世帯
(H25. 10. 1現在)



どぶろく祭



世界文化遺産



結いの心



白川郷学園 白川郷学園について



小学校校舎と中学校校舎を繋ぐ
ふれあいブリッジ





教科別専用教室等の設置

中学校舎

国語、社会、理科
数学、英語、技術
調理室、被服室

小学校舎

音楽室、図工室
図書室、生活科室



共通の教育目標

「ひとりだち」

自立 共生 貢献

兼務辞令による小中授業の乗り入れ

小中交流（合同）活動の推進

小中合同の研究推進

指導理念

「どの子にも!」 「はじめに子どもありき!」

白川郷学園 白川郷学園の重点施策

『確かな学力づくり』

きめ細かな指導を充実させ、どの子ども
「わかった、できた、もっと知りたい」
という授業を目指します。



中学校数学 TT (3人体制) 授業

『ふるさと学習』

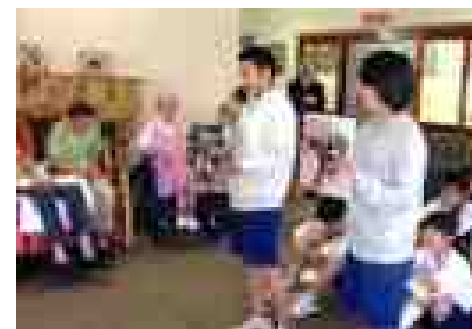
9年間を通して白川村の伝統文化を学び、
ふるさとを愛し、地域に貢献できる
人材を育てます。



小学校4年生 合掌屋根造り

『英語学習』

小学校1年生から英語に親しみ、
世界を視野に入れ、国際性豊かな
人間形成を目指します。



中学校3年 海外研修でのプレゼン



成果

「確かな学力の定着」について、
一貫教育の推進は有効である。



成果

「ふるさと学習」「英語学習」を
9年間一貫して取り組むことができる。



成果

一貫教育は、教員の資質向上、授業力向上の場
として大変有効である。



課題

学校と地域の繋がりがやや薄くなったように感じる。



地域の
課題

これからの地域力低下が心配される。

白川郷学園 地域と学校との繋がり



学校と地域を繋ぐ取り組み

【昨年度の実践（平成24年度）】

「運動会・体育祭」で 地域の民踊を取り入れた

教職員では指導することが難しい伝統芸能を
地域の方から教わることができた。

子どもたちのために多くの地域の方々が
快く学校に協力してくださった。

地域力向上につながった

夏休みのラジオ体操のあと
地域の方が自主的に民踊を指導してくれた。

地区のお祭りの練習に参加する子どもが増え
民踊保存会の方も喜んで指導してくれた。



白川郷学園 これからの白川郷学園



「地域の力」を学校に取り入れ
地域と共に子どもを育てていきたい

学校の願い



学校と地域のつながりを深め
今以上に**地域を活性化**したい

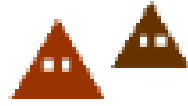
地域の願い



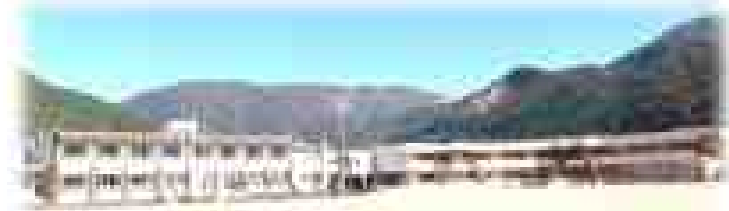
各地区の力を結集して
1つの大きな力としていきたい

学校と地域の願い

そのために「**学校運営協議会**（コミュニティ・スクール）」を立ち上げたい



学校と教育委員会の
担当者打ち合わせ会で確認した4つの**こだわり**



1村1小中学校の白川村だからこそできる協議会をめざす

準備委員会のメンバーは
いろいろな立場の目線をもった方々を選ぶ

会議の方法はKJ法などを取り入れ
委員の方々の主体性を大切にする

小中全学校職員の共通理解のもと
コミュニティ・スクールの活用性を考えて行く



準備委員会のメンバー（10名）

- ◆区長会長
- ◆青少年育成指導員
- ◆トヨタ自然学校校長
- ◆鳩谷女性会代表
- ◆老人会代表
- ◆民踊保存会連絡協議会代表
- ◆白川郷学園白川小学校PTA会長
- ◆白川郷学園白川中学校PTA会長
- ◆白川郷学園白川小学校学校評議委員代表
- ◆白川郷学園白川中学校学校評議委員代表

熟議 「どんな白川っ子になって欲しいか」

KJ法を活用して、全員で意見を出し合う熟議ができた

「どんな白川っ子になって欲しいか」

夢・誇り・自信をもった 自立した白川っ子

- ・自分の夢を笑顔で堂々と語れる子
- ・困難に負けず、常に前へ進む子
- ・自信をもって自分の考えを発揮できる子

(意見の一部)



自立

思いやりにあふれ あいさつができる白川っ子

- ・温かい言葉をかけることができる子
- ・みんなで助け合うことの大切さを知っている子
- ・誰にでも気持ちの良いあいさつが自分からできる子 (意見の一部)



共生

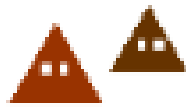
ふるさと白川郷を愛し 村を大切にする白川っ子

- ・白川村の好きなところを自分の言葉で語れる子
- ・地域の行事などに積極的に参加する子
- ・白川村の伝統文化を学び、守り続けていける子

(意見の一部)



貢献



文部科学省初等中等教育局
参事官（学校運営支援担当）

奈良 哲 様

学校、地域が活性化！
「地域とともにある学校づくり」

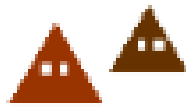
★地域の力や意見が加われば、
学校（教職員）が変わる！

★学校が変われば、子どもたちが変わる！

★子どもたちが変われば、地域が変わる！

これらの教育の姿を
実現してくれる
仕組み（道具）が

コミュニティ・スクール



準備委員会で考えた「白川っ子を育てるために**地域でできること**」とは…

夢・誇り・自信をもった自立した白川っ子を
育てるために

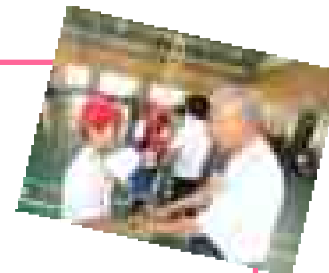
- ・子どもの夢を聞く耳を持ち、聞く場、聞く機会をつくる。
- ・子どもがチャレンジしてみたいことを挑戦できる機会をつくる。
- ・子ども会活動など地域の活動の場で、子どもたちが自主的に活動できる仕組みをつくる
- ・将来の目標を持てるよう、職場体験等で地域が支援する。



(意見の一部)

思いやりにあふれ あいさつができる白川っ子を
育てるために

- ・地域の大人が進んで気持ちのよいあいさつをする。(大人の意識改革)
- ・ボランティア活動などを積極的に実施し、子どもたちとともに活動をする。
- ・子ども会活動や自然学校の活動など、仲間や大人など人と関わる活動を大切にする。
- ・学校のあいさつや声かけ運動などに積極的に協力する。



(意見の一部)

ふるさと白川郷を愛し 村を大切にする白川っ子を
育てるために

- ・祭りや地域行事、地区の活動など、子どもと大人と一緒に活動する場を増やしていく。
- ・民踊を教える場などを地域でつくる。
- ・学校で学ぶ「ふるさと学び」のお手伝いをする。
- ・家族愛から郷土愛へと繋がるよう、まずは家庭教育を大切にする。



(意見の一部)



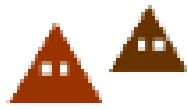
「白川っ子を育てるために
地域でできること」

より具体化

「だれ」が「どんなことをする」
と良いのか分類分けをする

熟議 「地域としてできることの分類分け」

いろいろな立場の目線から意見を出し合う熟議ができた



学校と地域が一緒に取り組む

- ・ 職場体験支援
- ・ ふるさと学習のお手伝い
- ・ 郷土資料や教材づくり
- ・ 学校のあいさつ運動等への協力
など

家庭で取り組む

- ・ 礼儀作法
- ・ 家庭学習に対する親の見届け
- ・ 子どもの夢を聞く耳をもつ
- ・ 家庭教育（ふれあい）
など

地域で取り組む

- ・ 子ども会や自然学校活動の充実
- ・ 地域の行事の充実
- ・ 大人のあいさつ改善
- ・ 伝統芸能文化の継承
- ・ 登下校の見守り
など

白川っ子を育てていくためには、
「学校運営協議会」だけではなく、
「学校を支えていく部会」
「地域活動を推進していく部会」
が必要!!

学校と地域の繋がりが重要

白川郷学園



学校と地域を繋げるために

学校が地域を求めている

- 学校が地域の人とつながらなければいけないという必要感がない。
- 学校から地域へのはたらきかけがない。

学校が地域を知らない

- 学校側が地域の人のことを詳しく知らない。
- 学校が地域行事を知らない。
- 学校が地域のニーズ課題を理解していない。

統合問題

- 統合され、子どもたちと顔を合わせる機会が減った。(コアがなくなった)
- 統合により学校区域が広がり、学校を身近に感じなくなった。

無関心

- 近所の子のことも分からず、学校に興味がない方も多い。
- 自分の子が卒業してしまくと、学校に興味がない。
- 学校に関係のない家庭の増加。

仕事のため

- 仕事が優先され、地域や学校の行事への参加ができない。(しない)

学校の情報発信不足

- 学校のことが分からない。見えてこない。
- 学校行事への地域参加呼びかけがない。

地域の願いが届きにくい

- 学校は地域へ要望することはあっても、地域の要望に答えることが少ない。
- 防犯のため、学校へ気軽に入れなくなった。

**将来を担う子どもを
学校と地域が
共に育む意識が低い!**

地域教育力の低下

- 学校に協力することのできる人材が地域の中で少なくなってきた。

地域力の低下 (コミュニティ不足)

- 地域行事の減少
- 各家庭単位で動くことが多く、地域のまとまりが薄くなってきている。

学校の多忙感

- 教員が忙しい
- 学校でやることが多すぎ
- 先生も地域の関わって欲しいが忙しすぎる。

コーディネート不足

- 学校の先生と知り合う機会がない。
- 学校が地域を巻き込んで何かをやりたいと思ったとき調整役がないため、教員個人の力に頼ることになってしまう。

地域性

- 地域の人たちは、学校の方針に意見を言わない風潮がある。

子どもにゆとりがない

- 子どものスポーツ活動や塾が忙しく、地域と関われない。
- 習い事や部活などで忙しい。

学校側の問題点

地域側の問題点

この部分が必要!

- ① 学校運営協議会 → 学校・地域の願いや課題を共有。教育方針や学校運営について協議・承認。学校評価。
- ② 地域からの支援隊 → 学校と地域の実情に応じた部会をつくり活動する。



Q 今、白川郷学園では学校運営協議会の設立を目指していますが、
どんな思いがありますか。

- ◇1村1小中だからこそ、設立されればうまく機能していくのではないか。
- ◇学校・地域・家庭をつなぐ大変有効性のある組織であると思います。
- ◇学校は地域の資源を活用できるし、地域は活性化が図れると思います。
- ◇白川村として、学校のある大郷地区と廃校になった南部地区が一つになっていく仕組みとなる方向をさぐりたい。

- ◆よくわかりません。
- ◆講話では聞きましたが、白川村ではどのように進められているのか、よくわかりません。
- ◆期待がある反面、どうなるのかという不安も大きい。
- ◆何を目指しているのかははっきりしない。

情報提供不足

当事者意識の欠如

準備委員の方と願いを共有する必要性

白川村一貫教育の目標とは

心豊かで、たくましく、ひとりだちする子の育成
～ふるさと白川郷に夢と誇りを～

学校だけで目標の達成は可能か

いいえ

白川郷について、夢や誇りを抱いているのは、私たちよりも地域の方々です。子どもたちは、学校だけではなく、地域や家庭で育ちます。

学校運営協議会の必要性は

多様な教育的ニーズに応え、今の教育を向上させたいと願うからには、学校運営協議会は、必要不可欠なものである。

熟議 「学校が地域と連携するために必要なこと」



学校の教育にどのように
関わってもらいたいのか

学校が地域に対して
できることはないか

準備委員の方の熱意を知り、自分たちも負けじと取り組みました



学校の教育にどのように関わってほしいか

- ・今の学校の現状を知り深く関わってほしい。
- ・地域の人にとって良い点、改善点を教えてほしい。
- ・教師では教えられない、ふるさとの学習や専門的な学習に関わってほしい。
- ・行事や登下校等、安全面のサポートをお願いしたい。
- ・子どもたちを鍛える体験の場を提供してほしい。
- ・学校職員の一員のような意識で関わってほしい。

学校が地域に対してできることはないか

- ・高齢者との交流を通して交流学习を進める。
- ・村の行事に学校として参加することで、行事を盛り上げ活性化する。
- ・ふるさと学習で白川村の伝統文化のすばらしさを学ばせる。
- ・学校職員が地域を知ろうとする意識を持つ。
- ・学校の情報を分かりやすく、こまめに発信していく。
- ・コミュニティの場としての学校の開放。

いつもかたわらにいて、良いも悪いも知ってもらえる学校運営協議会

白川郷学園 準備委員会と学校職員との交流会

準備委員さんより「最も大切な現場の先生方の思いを知りたい!!」

交流会を開催



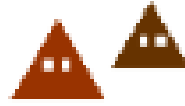
学校職員

「教師がもっと地域を知ることが大切。」
「地域のみなさんにも、共に子どもを育ていく
立場として、遠慮なく学校へ入ってきて欲しい。」
「地域の方の技術を子どもたちに伝えたい。」
「子育てに対して不安を感じている
家庭のサポートなども地域でできるとうれしい。」

準備委員会

「地域と学校が繋がることで教師の負担が大きくなる
ならないよう、運営委員会等の組織をしっかりと
し、何でも相談し合える繋がりを持ちたい。」

熟議 「白川村の将来を担う子どもたちを
学校と地域で共に育むためには」



昨年度に続き、今年度も（平成25年度）
運動会・体育祭で地域の民踊を行った

楽器演奏に挑戦したいと願う
子どもたち

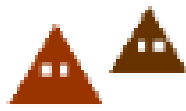
準備委員の中に民謡保存会の方がいたことで
子どもたちの願いを直接伝えることができた

子どもたちの挑戦に対して
地域の方が温かく支えてくれた

地域の力が
1つの大きな力になりつつある

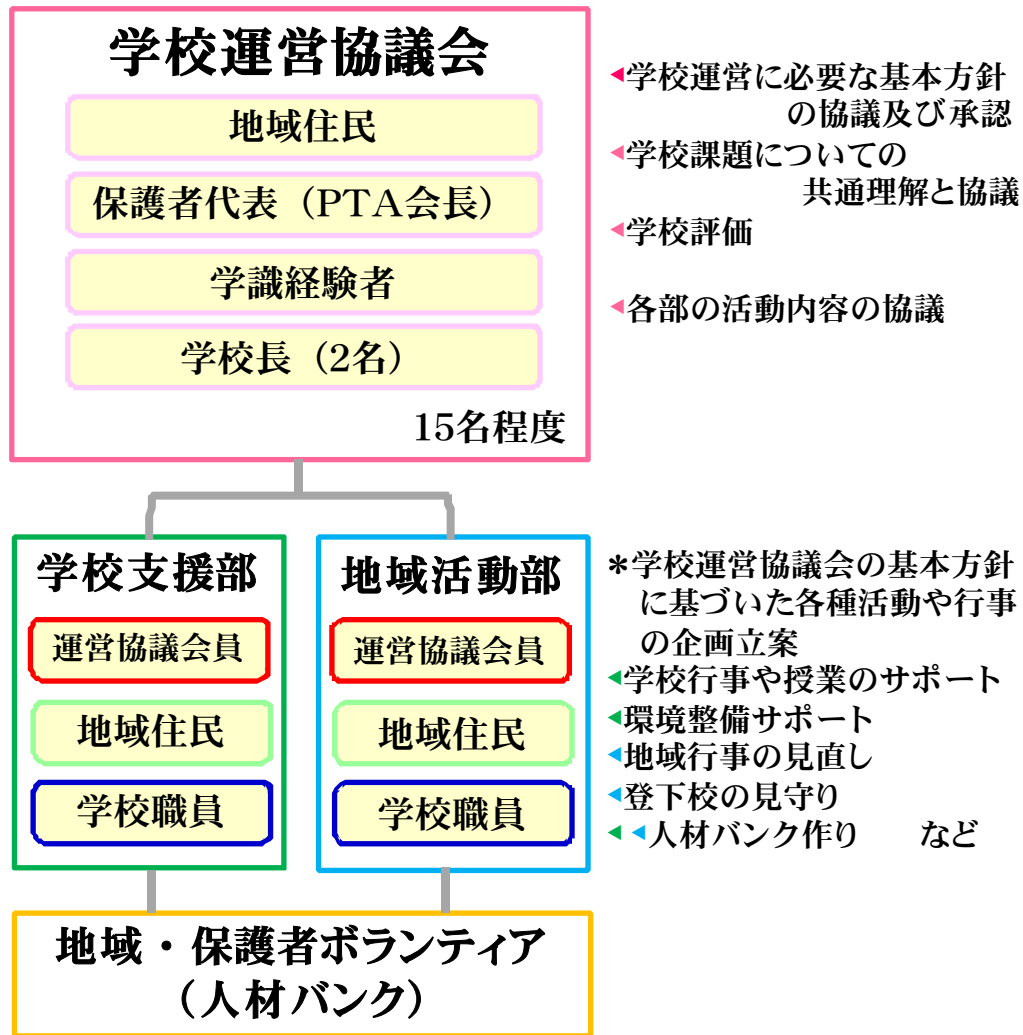
学校での民謡活動を機会に、村内4つの地区にある民謡保存会の連携が深まり、全保存会合同の懇親会が開かれるなど、**地区のみの目線から、村全体の目線へと変化しつつある。**





◆会則と組織について

これまで重ねてきた熟議を元に
1村1小中学校の「白川郷学園」
に適した会則と組織を考え合った。



白川郷学園 学校運営協議会設置



平成25年10月1日

白川村教育委員会より
白川郷学園を学校運営協議会を
設置する学校として指定される

指定書

白川村立白川郷学園を、学校運営協議会
を設置する学校として指定する。

指定期間

平成25年10月1日から平成28年3月31日

平成25年10月1日

白川村教育委員会


白川郷学園 今後の見通し 来年度（平成26年度）本格的な活動スタート



ふるさと学習のサポート



地域のボランティア活動への参加

形や活動ありきではなく
子どものため・地域のために
「心で動くこと」をめざします



主体的に活動する地域行事



職場体験のサポート

まずは、学校に多くの地域の方が来られる環境づくりから・・・



岐阜県大野郡白川村鳩谷

白川村教育委員会 05769-6-1311

白川郷学園白川小学校 05769-6-1366

白川郷学園白川中学校 05769-6-1360